

## AIS のロンドン五輪に向けた次なる一歩

ウォーリック・フォーブス

オーストラリアスポーツ研究所 (AIS)

ヨーロッパトレーニングセンター・リエゾンマネジャー

### 1. はじめに

オーストラリアスポーツ研究所 (AIS) は、AIS ヨーロッパトレーニングセンター (ETC) の建設地として、北イタリアのヴァレーゼ県にあるガヴィラーテという小さな町を選定した。現在ヴァレーゼ県と設計に関する交渉を行っており、最終的には、今後 10~20 年にわたってオーストラリアの選手やスポーツ医・科学スタッフ、運営支援のスタッフが滞在する大規模拠点を建設することになる。オーストラリアの選手は、2010 年 8 月に完成を予定しているこの施設を拠点として、ヨーロッパで行われる数多くの競技会やトレーニングに参加することが可能となる。また、ヨーロッパ全域のスポーツ医・科学のサポートセンターから成る、支援ネットワークもあわせて構築していく。

### 2. 設立の経緯と全体計画

AIS は 2001 年、ヨーロッパで開催される数多くの競技会に選手を参加させるための経済的な方法を模索する調査を行った。結果、長期に及ぶ協議と費用評価を経て、北イタリアに ETC を建設することが決まった。ヨーロッパに選手を派遣する旅費として多額の財源を費やしていることから、この財源を使って選手をヨーロッパに長期滞在させた方が効率的だと判断したのである。この先、大規模選手団のヨーロッパ派遣にかかる渡航費は上昇の一途をたどると予想される上、環境面での問題もある。ETC の設置は、深刻化する財政問題と地球温暖化の両方に対処する上で最も理に適った方法なのである。

イタリアのヴァレーゼ県ガヴィラーテを選んだのは、ヨーロッパの主要諸国に近く、1 年を通じて気候条件が温暖なためだ。この地域には、設備の整ったボート場、世界有数のサイクリングロードに加えて、水泳、バスケットボール、バレーボール、テニス、トライアスロン、カヌー、カヤック、セーリング、馬術用の施設があり、またオーストラリアにとっては重要だが競技人口の少ないその他の競技向けの施設も多数整っている。ETC には、50 人以上の選手が宿泊できる予定で、障害のある選手向けの施設も用意する。常勤のマネジャーが駐在し、運営事務所、スポーツ科学研究所、スポーツ医療室、理学療法室、リハビリテーションセンター、複数の調理室、食堂、一般向け喫茶スペース、娯楽設備、会議室、インターネット設備、テレビ・電話会議設備のほか、大規模な体力強化・調整センターも備える予定である。保管施設や倉庫も近隣にある。

AIS は、イタリアの ETC に加えて、各地のスポーツ医・科学のサポートセンターから成る、ヨーロッパ全域に渡る支援ネットワークも構築していく。今後オーストラリアの医療スタッフや競技チームが長期にわたってヨーロッパ内を移動・滞在する際には、これら各地のサポートセンターを通じて支援を受けることになる。ETC の医療サポートセンターは、必要に応じて、臨床検査、専門医の助言や治療、リハビリテーションを提供する。また、各国のスポーツ科学センターは、オーストラリアの研究者と協力し、ヨーロッパに滞在中の競技者が必要とする評価や検査を実施するほか、ヨーロッパの研究者や研究所との共同研究を行う機会としても期待される。AIS は、ヨーロッパの協力団体と共に ETC でスポーツ医・科学の分野での年次国際会議を開催し、同分野の最新テーマに関する議論を行っていきたいと考えている。

### 3. まとめ

世界が金融危機に直面するなか、オーストラリアがオリンピックなどの国際大会で自国の成績を維持・向上していくには、国の限られたスポーツ関連財源を賢明かつ効率的に使うことが重要となる。イタリアの AIS ヨーロッパトレーニングセンターと各国のスポーツ医・科学サポートセンターのネットワークによって、この先 10 年、20 年とヨーロッパでの試合経験を経済的かつ環境に優しい方法で積み重ねていくことが可能となる。オーストラリア選手が国際試合で高い成績を収めれば、オーストラリアのスポーツ参加人口の拡大をもたらし、若年層の健康的な生活を促すことにもつながる。